

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	1	コース	総合進学	選択形態	必修	科目	化学基礎	単位	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的探究のために必要な力や基本的技能を身に付ける。</li> <li>物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>								
使用教科書	新化学基礎（第一化基 712）	副教材	ネオパルノート化学基礎（第一学習社）				予定時間数	70	
単元と内容									
1 学期	物質と構成要素		物質の分離、物質の構成元素、元素の確認、物質の三態、原子のなりたち、同位体、電子配置と周期表						
2 学期	化学結合		イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合、化学結合と物質の分類						
	物質量と化学反応式		原子量・分子量・式量、物質量、溶液の濃度、化学反応の表し方、化学反応式の表す量的関係						
	酸・塩基とその反応		酸と塩基、水素イオン濃度と pH、中和反応と塩の生成、中和滴定、中和滴定曲線						
3 学期	酸化還元反応		酸化と還元、酸化剤と還元剤、金属の酸化還元反応、酸化還元反応の応用						
評価									
評価の観点		評価の趣旨					評価対象		
							1 学期末	2 学期末	学年末
①	知識・技能	化学的な事象・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、化学的な事象・現象に関する技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。					○	○	○
②	思考力・判断力・表現力	化学的な事象・現象の中に問題を見だし、事象を実証的、論理的に考える。また、分析的・総合的に考察して問題解決する。事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。					○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	化学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。					○	○	○
評価方法	①		②			③			
	定期考査 85 % レポート 5 % 相互評価 5 % 各種提出 5 %		定期考査 50 % 口頭試問 30 % 各種発表・まとめ 20 %			小テスト 50 % 口頭試問 50 %			

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	1	コース	全コース	選択形態	必修	科目	地学基礎	単位	2
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見直しをもって観察、実験などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。								
使用教科書	高等学校地学基礎(第一学習社)			副教材	セミナー地学基礎(第一学習社)			予定時間数	70
単元と内容									
1学期	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 第2節 プレートの運動			地球の形と大きさ、地球の形の特徴と大きさ、地球の内部構造、地球内部の動き プレートの分布と運動、プレートの境界、地殻の変動と地質構造、変成作用、 大地形の形成					
	第2章 地球の活動 第1節 地震 第2節 火山活動			地震の発生と分布、地震波の伝わり方、日本付近で発生する地震 火山の分布、火山の形成とマグマ、火山の噴火、火山の地形、火成岩の形成、 火成岩の種類					
2学期	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動			大気の特徴と構成、対流圏における水の変化、太陽放射と地球放射、大気のエネ ルギー収支、エネルギー収支の緯度分布、風、大気の大循環、海洋の構造、海洋 の大循環、エルニーニョ現象とラニーニャ現象					
	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 第2節 太陽系と地球の誕生			宇宙の探究、宇宙の始まり、太陽の誕生、太陽の活動 太陽系の構造、太陽系の誕生、太陽系の惑星、生命の惑星・地球					
3学期	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷			地層の形成、地層の重なりと広がり、堆積岩、化石と地質時代 先カンブリア時代、古生代、中生代、新生代					
	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境			気候変動、地球温暖化による変化、オゾン層の変化 自然の恩恵、季節の変化、気象災害、地震災害、地震による被害の軽減、火 山災害と防災					
評価									
評価の観点			評価の趣旨			評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。			○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力		地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見直しをもって観察・実験などを行う。事象を実証的・論理的に考え、分析的・総合的に考察し、問題を解決する。事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。			○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度		地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。			○	○	○	
評価方法	① 知識・技能			② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査	90%	小テスト	10%	定期考査	80%	レポート	20%	ノート